『HIV 感染者における NAFLD/NASH の病態把握に関する研究』

2022 年 4 月 14 日

東京大学医科学研究所感染症分野・附属病院感染免疫内科、および総合診療科では、HIV感染症研究をさらに発展させるために標記の研究を進めることにいたしました。この研究へのご質問がある方や、研究協力を辞退される方には、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。その場合でも、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

◇研究の対象

研究の対象となる方は2017年4月以降に感染免疫内科および総合診療科を受診されたHIV感染症の方、および対照者として非HIV感染症の方。

◇研究期間

2019年3月29日（所長・病院長許可）～2024年3月31日

◇研究の概要

HIV 感染者の予後は著明に改善し、現在は発癌・生活習慣病が問題となっています。その中で、肝炎ウイルスに感染しておらず、アルコールも飲まない方に起きる非アルコール性脂肪肝疾患 (NAFLD) や非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) を発症する頻度が、HIV 感染者では高いと言われております。HIV 感染者と NAFLD/NASH の詳細はまだ報告が少なく、どのような因子がより関係するか調査することにいたしました。この結果は、今後の HIV 感染者の長期予後に関する重要な情報になると考えております。

◇ご協力いただく内容

この研究のために、新たにご協力いただくことは全くございません。診察時にお尋ねした問診内容や血液検査の結果（臨床情報、臨床検査値、腹部エコー等）を使わせていただきたいと思います。

◇個人情報の保護

診療情報は、上記の研究のもとで付された符号により引き続き厳重に管理し、研究に用います。

個人情報に関しては、政府が定めた倫理指針に則って厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

◇研究参加による利益・不利益

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者様に直接的に利益となるようなことはありませんが、HIV感染症の長期予後の進展につながることを期待できます。

不利益・・・診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

◇研究協力の辞退について

本研究に診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者様の診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者様に生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

◇研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報には厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

本研究は、本研究所の倫理審査委員会の承認及び所長の許可を得ていることを申し添えます。

本研究についてのご質問、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合などは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ窓口：

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野/附属病院感染免疫内科

古賀 道子

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

電話：03-5449-5338, Fax：03-5449-5427

E-mail; michiko@ims.u-tokyo.ac.jp